

ファンタジー作家

荻原規子さん



立高30期卒業の荻原規子さんは、早大教育学部を経て**児童文学作家**として活躍しています。

1988年に出版されたデビュー作『**空色勾玉**』が日本児童文学者協会新人賞を受賞したのを皮切りに、赤い鳥文学賞、産経児童出版文化賞、小学館児童出版文化賞、

日本児童文学者協会賞など数々の賞を受賞しています。

『空色勾玉』『白鳥異伝』『薄紅天女』は**勾玉三部作**と呼ばれるファンタジーで、英語にも翻訳されました。

7月には待望の『**RDG3 レッドデータガール 夏休みの過ごし方**』（角川書店）も



出版され、数多のファンの期待に応え続けています。

また『**樹上のゆりかご**』は著者の**立高生活を基に描いた青春小説**で、30数年前の母校の合唱祭や立高祭などを窺い知る事ができます。